

大阪工場

新設 2011 (平成23) 年閉鎖後移転

竣工 DATA

竣工年月	1982 (昭和57) 年10月 (買収)	
設計者	松本設計	
施工者	戸田建設	
施設概要	敷地面積	4,001.70㎡
	延べ床面積	16,540.95㎡
	構造	RC造一部SRC造6階建
	プラットホーム	開放型低床式
収容能力	防熱方式	外防熱
	総トン数	20,772.18t
	F級	20,772.18t
	C級	×
	C&F	×
冷却設備	凍結	×
	施工者	ダイキンプラント
	冷凍機メーカー	ダイキン
	主要冷凍機	高速多気筒冷凍機
その他設備	冷媒	R-22
	冷却方式	分散式・直接膨張式・ユニットクーラー
その他設備	ロープ式エレベーター5基	



大阪工場 (1982 (昭和57) 年)



敷地が斜めになっており、表通り側は土地を掘った高床式のプラットホーム、奥は低床式プラットホームになっている。

豆辞典

大阪港の歴史

大阪の港は古来より、「難波津(なにわづ)」と呼ばれた内外交易の玄関口として、淀川や木津川、縦横にめぐらされた掘割(ほりわり)を使って物資が集められていた。

江戸時代には、大阪中心部の中之島に米、魚、野菜、材木などの卸売市場が設けられ、大阪・堂島の相場が全国の相場を左右するほどの支配力を持ち、物資の運搬のために水運による物流が大いに栄えた。

安治川はその中之島に繋がる水運の大動脈で、名前の由来は開削から14年経った1698 (元禄11) 年「安けく治むる」という意味で安治川と名付けられたと言われている。


安治川は戦後になってからも水運の拠点として利用され続け、その両岸には多くの倉庫群が立ち並んでいた。しかし、1980年代に入り、海上輸送の主流が船や在来船から海上コンテナへと移行するなかで、大阪でもより広い敷地を有する南港を中心に大規模な港湾整備が進められて行った。


物流の拠点が大阪港から南港に移ってから倉庫としての機能と価値が低くなり、合わせて老朽化も進んだことから、大阪工場は、北港物流センターの完成と共に解体し、敷地は売却した。

のため、長谷川鉄工製の冷凍機を増設したんだよ。

さらに3年後の1990 (平成2) 年に、買収時点からあったダイキン製の冷凍機からコベルコ製のスクリュー冷凍機に入れ替えを行ったね。

ヨコレイ最大規模の冷蔵倉庫を買収 大阪へ初進出!


 大阪初の冷蔵庫である大阪工場はどんなでしたか?


 大阪地区初進出の事業所で、2万トンの超えのヨコレイとしても最大の冷蔵倉庫だったんだ。

丸紅冷蔵株式会社から、弁天町もしくは住之江区の冷蔵倉庫のどちらかを引き受けて欲しいと要請され、弁天町にあったのを買収したのが大阪工場なんだ。

近隣には冷蔵倉庫が建ち並ぶ、古くからの物流拠点として実績のある場所で、大阪中央卸売市場にも近くため、市場対応の貨物も扱っていたけど、海老や豚肉などの輸入貨物に品目を絞ることで効率化を図り、

利益を上げた工場でもあったかな。

 買収した工場なので、当社は設計に関わっていないですが、設備的にはどうでしたか?

 全体は低床式のプラットホームだけど、隣接する道路から安治川沿いの岸壁に向かってかなりの傾斜がある場所に建てられていたので、岸壁側は低床式のプラットホームだけど、道路側の低い部分は一部地面を掘り込んで、コンテナでの荷役が可能な特殊な高床式にもなっていたんだ。

冷凍機はR-22直膨式ユニットクーラーの分散式だったね。買収して5年後、超低温冷蔵庫の増強